

「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成30年度結果概要について

1 全体アンケート（学校の自己評価のための基礎資料）の概要

(1) 目的

- ・ 学校教育に関わる意見や意識を数値化し、学校評価へ反映することにより、学校評価の客観性や信頼性を高める。
- ・ 全校共通質問の市平均等との比較により自校の強みや弱みを確認し、学校評価に反映する。

(2) 質問

市が設定した全校共通の19質問（資料1～3参照）及び学校が独自に設定した質問

(3) 対象者

全教職員・児童生徒・保護者、任意の地域住民（H30回答者数78,900人）

(4) 実施時期

平成30年10月から12月まで

2 全体アンケート集計結果の概要（表の単位：パーセント）

※平成24年度より保護者及び地域住民の「判断できない」との回答を除いて集計

(1) 市全体（資料1参照）

- 肯定的回答割合が教職員は16項目中9項目、保護者は16項目中9項目、地域住民は15項目中14項目、児童生徒は15項目中13項目それぞれ増加している。

- 肯定的回答割合が全62項目中45項目（73%）増加している。

- 以下の項目は、肯定的回答割合が2ポイント以上増加している。

教職員 No.14（時と場に応じた言葉づかい）(+2.1P)

No.15（積極的な運動）(+2.7P)

No.16（バランスのとれた食事）(+6.8P)

保護者 No.5（いじめ対策の取組）(+8.7P)

No.14（時と場に応じた言葉づかい）(+2.0P)

No.16（バランスのとれた食事）(+6.4P)

地域住民 No.5（いじめ対策の取組）(+3.2P)

No.15（積極的な運動）(+2.0P)

児童生徒 No.5（バランスのとれた食事）(+8.0P)

(2) 小学校（資料2参照）

- 肯定的回答割合が全62項目中45項目（73%）増加している。

- 以下は、肯定的回答割合が2ポイント以上増加した項目である。

教職員 No.14（正しい言葉づかい）(+2.3P)

No.16（バランスのとれた食事）(+8.0P)

保護者 No.5（いじめ対策の取組）(+9.1P)

No.13（積極的なあいさつ）(+2.3P)

No.14（正しい言葉づかい）(+2.5P)

No.16（バランスのとれた食事）(+8.2P)

地域住民 No.5 (いじめ対策の取組) (+3.8P)
 No.15 (積極的な運動) (+2.0P)

(3) 中学校 (資料3参照)

- 肯定的回答割合が全62項目中46項目 (74%) 増加している。
- 以下の項目は、肯定的回答割合が2ポイント以上増加している。

教職員 No.13 (積極的なあいさつ) (+2.9P)
 No.15 (積極的な運動) (+7.1P)
 No.16 (バランスのとれた食事) (+4.2P)

保護者 No.5 (いじめ対策の取組) (+7.9P)
 No.16 (バランスのとれた食事) (+2.4P)
 No.17 (積極的な学習) (+2.8P)

地域住民 No.17 (積極的な学習) (+2.1P)

3 市全体の特徴

(1) すべての対象で90%を超えた質問 (資料1参照)

- 質問No.1「学校の活気ある雰囲気」、質問No.2「教職員の熱心な指導」、質問No.6「適切な教育課程」、質問No.7「情報の発信・提供」については、昨年度に引き続き、肯定的回答すべてが90%を超えている。特に、質問No.2「教職員の熱心な指導」については、児童生徒の回答の15項目の中で最も数値が高く、学校が認め励ます教育を展開する中で、教職員と児童生徒との望ましい人間関係のもと指導の充実が図られているものと考えられる。また、本年度は、地域住民地域住民の肯定的回答割合が、15項目中14項目において増加の傾向が見られるが、学校が地域への情報発信を積極的に取り組んだことが、他の項目における増加につながったものと考えられる。

※網かけ：90%を超えている数値，ゴシック体太字：児童生徒の回答のうち最も高い数値

質問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No.1 学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。	H30	97.3	-0.1	94.0	0.0	99.1	0.4	91.2	-0.1
	H29	97.4		94.0		98.7		91.3	
No.2 教職員は協力し、児童生徒のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。	H30	97.8	-0.4	91.1	0.0	98.5	0.3	97.1	0.5
	H29	98.2		91.1		98.2		96.6	
No.6 学校の日課、授業、行事などの教育課程は適切に実施されている。	H30	98.6	0.1	96.6	-0.1	99.4	0.6	92.1	0.3
	H29	98.5		96.7		98.8		91.8	
No.7 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。	H30	98.5	-0.7	95.4	-0.3	98.6	0.3	/	
	H29	99.2		95.7		98.3			

(2) すべての対象で昨年度の数値より増加している質問（資料1参照）

○ 質問No.5「いじめ対策の取組」については、教職員、地域住民、児童生徒の肯定的回答が90%を超えた。保護者における肯定的回答は、H28は65.2%であったが、H29には7.2ポイント、今年度8.7ポイントと2年連続して大きく上昇した。このことは学校が、家庭・地域に対して、いじめ対策の取組を積極的に推進してきた成果であると考えられる。

なお、本年度における保護者の肯定的回答が上昇した要因としては、今年度より質問内容を「学校はいじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」から「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」に変更した影響もあると考えられる。

※網かけ：90%を超えている数値

質問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 5 学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。	H30	98.8	0.4	81.1	8.7	94.8	3.2	97.0	0.4
	H29	98.4		72.4		91.6		96.6	

○ 質問 No. 13「積極的なあいさつ」については、教職員、地域住民、児童生徒の肯定的回答は85%を超え、昨年度に比べすべての対象で伸びている。特に、保護者の肯定的回答が昨年度より1.8ポイント高くなっており、各学校におけるあいさつに関する取組などの成果が現れており、児童・生徒が時と場に応じたあいさつをすることを意識しながら生活をしていると考えられる。

※下線：昨年度より増加している数値

質問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 13 児童生徒は、進んであいさつをしている。	H30	<u>87.6</u>	1.4	<u>77.3</u>	1.9	<u>90.7</u>	1.6	<u>92.6</u>	0.6
	H29	86.2		75.4		89.1		92.0	

○ 質問 No. 15「積極的な運動」については、教職員、地域住民、児童生徒の肯定的回答は85%を超え、昨年度に比べすべての対象で伸びている。特に、教職員の肯定的回答が昨年度より2.7ポイント、地域住民は2.0ポイント高くなっており、各学校が運動に関する取組を積極的に行い、その取組を地域に情報発信していると考えられる。

※下線：昨年度より増加している数値

質問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 15 児童生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。	H30	<u>93.1</u>	2.8	<u>71.5</u>	1.1	<u>85.7</u>	2.0	<u>86.6</u>	1.0
	H29	90.3		70.4		83.7		85.6	

- 質問 No. 16「バランスよい食事」については、教職員、保護者、児童生徒の肯定的回答が昨年度に比べ大きく伸びているが、質問内容を「児童生徒は、好き嫌いなく給食を食べている」から、「児童生徒は、好き嫌いなく給食を食べている(嫌いなものでも一口は食べている)」に変更したことの影響であると考えられる。

※下線：昨年度より増加している数値

質 問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 16 児童生徒は、好き嫌いなく給食を食べている(嫌いなものでも一口は食べている)	H30	<u>89.9</u>	6.9	<u>78.8</u>	6.4			<u>87.8</u>	8.0
	H29	83.0		72.4				79.8	

- 質問 No. 17「積極的な学習」については、教職員、地域住民、児童生徒の肯定的回答が90%を超えていることから、教職員が、児童生徒が進んで学習に取り組むことができるよう、指導を充実させてきたことの成果であると考えられる。また、保護者の肯定的回答も昨年度より1.9ポイント高く、家庭学習についての保護者への啓発等の取組により、家庭学習に進んで取り組む児童生徒が増加していることが考えられる。

※網かけ：90%を超えている数値

質 問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 17 児童生徒は、進んで学習に取り組んでいる。	H30	<u>93.1</u>	0.4	<u>86.5</u>	1.8	<u>96.1</u>	1.8	<u>90.4</u>	1.1
	H29	92.7		84.7		94.3		89.3	

- 質問 No. 18「落ち着いた学習」については、教職員、地域住民、児童生徒の肯定的回答は85%を超え、昨年度に比べすべての対象で伸びている。各学校において、教職員の児童生徒への規範意識に関する指導や進んで学習に取り組む態度の育成の効果が現れ、児童生徒が落ち着いて学習に取り組んでいると考えられる。

※下線：昨年度より増加している数値

質 問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較	比較	比較	比較	比較	比較		
No. 18 児童生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	H30	<u>94.2</u>	0.1	<u>87.7</u>	0.4	<u>96.1</u>	0.2	<u>85.0</u>	1.0
	H29	94.1		87.3		95.9		84.0	

(3) 数値が80%を下回る質問（資料1参照）

- 質問No.13「積極的なあいさつ」、質問No.14「正しい言葉づかい」、質問No.15「積極的な運動」、質問No.16「バランスよい食事」における保護者の肯定的回答は、他の質問に比べ低い値である。学校の取組としては、保護者に対する周知の不足が考えられるが、前々年、前年と着実に値が向上しており、成果が表れてきている。

※網かけ：80%を下回る数値

質 問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較		比較		比較		比較	
No.13 児童生徒は、進んであいさつをしている。	H30	87.6	1.4	77.3	1.9	90.7	1.6	92.6	0.6
	H29	86.2		75.4		89.1		92.0	
No.14 児童生徒は、正しい言葉づかいをしている。	H30	84.0	2.1	77.1	1.9	87.8	0.0	84.7	0.5
	H29	81.9		75.2		87.8		84.2	
No.15 児童生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。	H30	93.1	2.8	71.5	1.1	85.7	2.0	86.6	1.0
	H29	90.3		70.4		83.7		85.6	
No.16 児童生徒は、好き嫌いなく給食を食べている（嫌いなものでも一口は食べている）	H30	89.9	6.9	78.8	6.4			87.8	8.0
	H29	83.0		72.4				79.8	

- 質問 No.11「教員の業務縮減」については、教職員の肯定的回答が69.0%と他の項目に比べ、低い値となっている。今後、改善の具体的な方針や取組について検討する必要がある。

質 問	年度	教職員		保護者		地域住民		児童生徒	
		比較		比較		比較		比較	
No.11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。	H30	69.0							
	H29								